

新社会党・無所属の会

# 藤崎ちさこ

## 市議会ニュース

2018年4月 発行

習志野市袖ヶ浦

3-7-5

責任者 藤崎ちさこ



## 2018年 3月市議会

袖ヶ浦団地の再生・活性化！

子ども食堂の活動に支援を！

習志野3月市議会は2月20日に開会し、3月23日まで審議しました。26の議案の中、特に注目すべきは「国民健康保険制度の改定」と「介護保険料と基準所得金額の改定」です。

### 介護保険料

## 14,3%値上改定！

介護保険は2000年度に始まりましたが、介護保険法施行令は3年ごとに改正されます。2018年度からの3年間、第7期は保険料が改定され、16ある所得段階の全てで14,3%値上げとなります。理由は、高齢化



が進み、介護給付費も年々増大しているからです。

### 国民健康保険が都道府県に！

2018年度から国民健康保険の財政運営の責任主体が、市町村から都道府県に移行します。この改正で保険料率の改定はないものの、基礎賦課限度額が4万円上がります。

介護保険料と国民健康保険料を合わせた負担は、高齢者の生活をさらに圧迫することになると心配されます。

次に、私、藤崎ちさこの一般質問（市政について質問するもの）について報告します。

#### （1）放課後児童会について

【藤崎】

放課後児童会の入会希望者数の推移について。

【答弁：こども部長】

子ども・子育て支援事業計画の中間見直しで、2019年度の入会児童数を1,261人と見込んだ。2017年度実績の1,109人より、152人増となっている。

【藤崎】

2017年度民間の支援員を配置した、つだぬま児童会の検証結果はどうか。

【答弁：こども部長】

良かった点は、児童が安心して楽しく過ごせる、多様な子どもたちへの配慮がある。改善すべき点は、送迎のルール、習い事や苦情等への対応。

**【藤崎】**

2018年度以降の民間業務委託について。

【答弁：こども部長】

2019年度新たに、藤崎第1、藤崎第2、大久保東の3つの児童会で民間業務委託を開始する。本年1月から2月の保護者会において説明した。今後、全児童会の保護者に対し文書でお知らせする。

**【要望】**

児童が安心して児童会を利用できるように、また、支援員の働く環境がさらに改善されていくように、しっかりとした取組みを要望する。

**(2) 袖ヶ浦団地の再生・活性化****【藤崎】**

袖ヶ浦団地のURによる団地再生の取組みは遅い。市からURに対し、スピードアップを申し入れていただけないか。

【答弁：政策経営部長】

URに対して、積極的に連絡を図り、団地再生の進捗状況の確認を行っている。今後、連絡を図る中でスピードアップを申し入れていく。

(下は、袖ヶ浦団地ショッピングセンター)

**【藤崎】**

高齢者の方たちが快適に暮らせる、また、単身の若者や若い家族世帯も移り住んでくるような、魅力あるまちづくりを進める再生・活性化に早く取り組むように、URに対し求めていただけないか。

【答弁：政策経営部長】

袖ヶ浦団地の団地再生は、袖ヶ浦地区のまちづくりの一環として捉えている。「若者と子育て世代に魅力あるまちづくり」、「多様な世代の交流」、「少子高齢化に対応」などを踏まえて、まちづくりに取り組んでいく。

**【藤崎】**

団地再生後は、賃貸家賃の値上げが想定されるが、家賃に対する支援をURと共同で取り組んでいただけないか。

【答弁：政策経営部長】

団地再生の取組みが具体化する中で、家賃の設定等、団地運営の方針も示されると想定している。現段階ではご意見として受け止めさせてもらう。

**(3) 公共施設再生計画の跡地活用****【藤崎】**

あづまこども会館は2020年3月末をもって閉館される。勤労会館をリノベーション(躯体活用)した後の南館のこどもスペースに機能を引き継ぐというが、あづまこども会館の今の活動が維持できるのか。

【答弁：資産管理室長】

あづまこども会館での活動内容を、市から事業者に対して提示し、可能な限り引き継いでもらうと共に、事業者から新たな活動の提案をしてもらうように協議している。

**【藤崎】**

地域等からあづまこども会館の跡を、地域のために生かす活動を展開する提案があるが、市はどのように受けとめるのか。

【答弁：資産管理室長】

市民の皆様が主体性をもって、活用方法をご検討下さることは、大変ありがたい。まずは、貴重な提案として受けとめさせていただく。

**【要望】**

地域のこどもから高齢者の方まで、多様な年代の人々が気軽に立ち寄って活動できる場所として、あづまこども会館の跡を活用できるようにと、要望する。

**(4) 子ども食堂の活動の現状と今後**

2016年12月に袖ヶ浦地域で、ボランティアによる子ども食堂「袖っこテーブル」の活動が始まって1年3か月が経ちました。様々な不安の中でスタートしましたが、参加する児童・保護者の数が徐々に増え、参加者どうしの交流も深くなりました。食事の提供だけでなく、食後に地域のボランティアの方による民話や絵本の「読み聞かせ」も行われていて、活動が充実してきました。

**【藤崎】**

習志野市全体を見た場合の、子ども食堂の活動の現状はどのようなものか、伺う。

【答弁：こども部長】

習志野市における子ども食堂は、地域の大人が地域の子どものために無料や安価で食事を提供する自主的な活動として、袖ヶ浦地域に1、実籾地域に2、東習志野地域に1、合計4カ所開設されている。運営のための有益な情報を共有で

きるよう、昨年11月に意見交換会を開催し、4カ所の団体の代表の方々から活動内容を紹介して頂いたところである。

**【藤崎】**

子ども食堂の活動は子どもたちの居場所づくりでもある。しかし、子ども食堂は無料や安価で食事を提供するため、資金的に不足しがち。習志野市に利用できる補助金の制度はあるのか、伺う。

【答弁：こども部長】

習志野市では、市民団体の自主的で公益的な事業に対する「習志野市市民参加型補助金」がある。こうした制度をご紹介していきたい。

**【要望】**ふるさと納税の「ふるさとチョイス（選択）」で「子ども食堂に寄付する」ことができる取組みを検討して頂きたい。子ども食堂の活動が習志野市全体に広がっていき、地域に根付いていくように、市の積極的な支援を要望する。

**議案・陳情に対する賛否の理由**

【H30年度一般会計予算】

大久保地区公共施設再生計画が、市民の声を十分に反映しないで進められているため、また、保育所の待機児童が解消されない等のため、反対。

【国民健康保険料賦課限度額の改定、軽減制度改定】

医療分の賦課限度額が4万円値上がりすることで、保険料が値上がりとなる世帯が出るため、反対。

【介護保険料及び基準所得金額の改定】

第1号被保険者（65歳以上の方）の、2018年度からの3年間の保険料が、現在より14.3%も値上がりするため、反対。

## 議案・請願・陳情に対する議員の賛否

所属会派	氏名	平成30年度 一般会計予算	習志野市国民健康保険料 賦課限度額の改定、軽減 制度改定	介護保険料及び 基準所得金額の改定
新社会党・ 無所属の会	宮内 一夫	×	×	×
	藤崎ちさこ	×	×	×
日本共産党	谷岡 隆	×	×	×
	荒原ちえみ	×	×	×
	入沢 俊行	×	×	×
環境みらい	央 重則	×	○	○
	市角 雄幸	×	○	○
	中山 恭順	×	○	○
民意と歩む会	木村 孝	×	○	○
	佐野 正人	○	○	○
	立崎 誠一	×	×	×
都市政策研究会	平川 博文	×	×	○
真 政 会	荒木 和幸	○	○	○
	宮本 博之	○	○	○
	鮎川 由美	○	○	○
	伊藤 寛	○	○	○
	佐々木秀一	○	○	○
公 明 党	小川利枝子	○	○	○
	清水 晴一	○	○	○
	布施 孝一	○	○	○
	真船 和子	○	○	○
	木村 孝浩	○	○	○
元気な習志野を つくる会	田中真太郎	—	議長のため賛否なし	—
	帯包 文雄	○	○	○
	加瀬 敏男	○	○	○
	関根 洋幸	○	○	○
輝く習志野を つくる会	関 桂次	○	○	○
	相原 和幸	○	○	○
	飯生 喜正	○	○	○
	清水 大輔	○	○	○

(ご意見の連絡先) 090-8312-7845